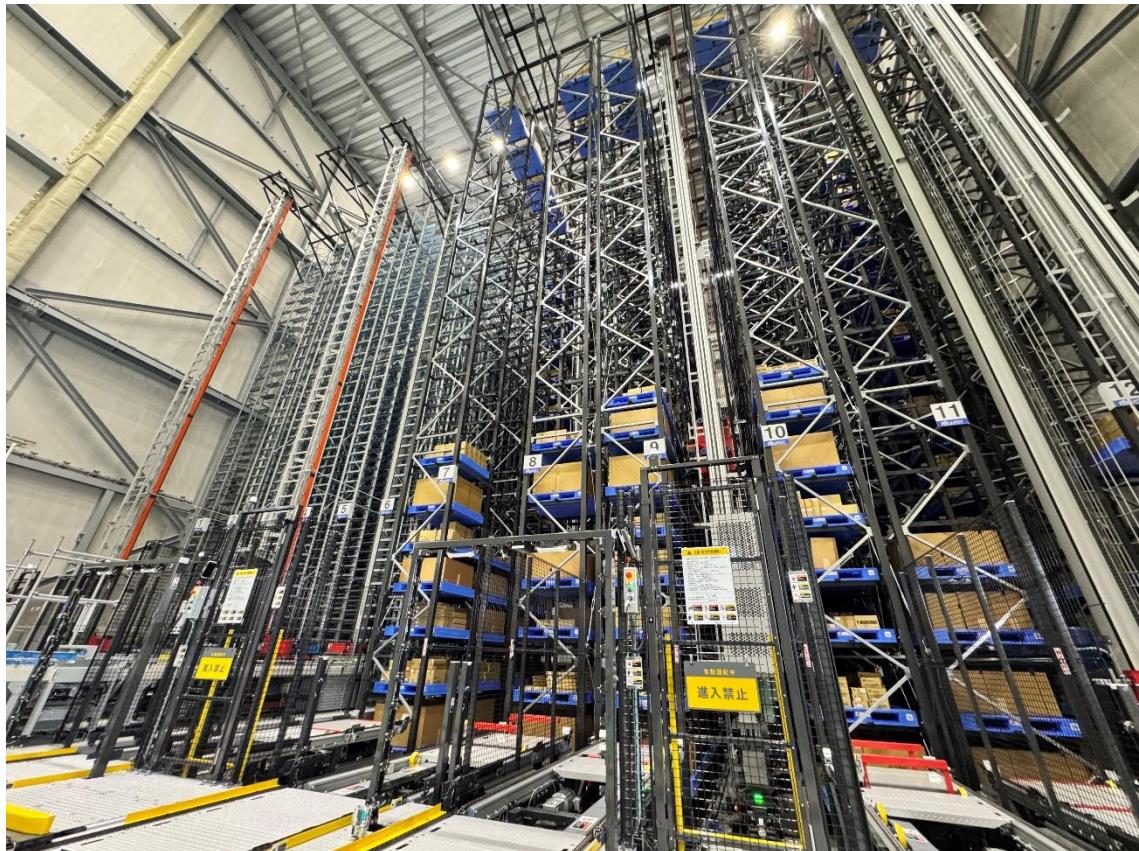


極東開発工業 新西部パーツセンターに大型自動倉庫を導入 ～物流の迅速化・効率化によりアフターサービスを大幅に強化～

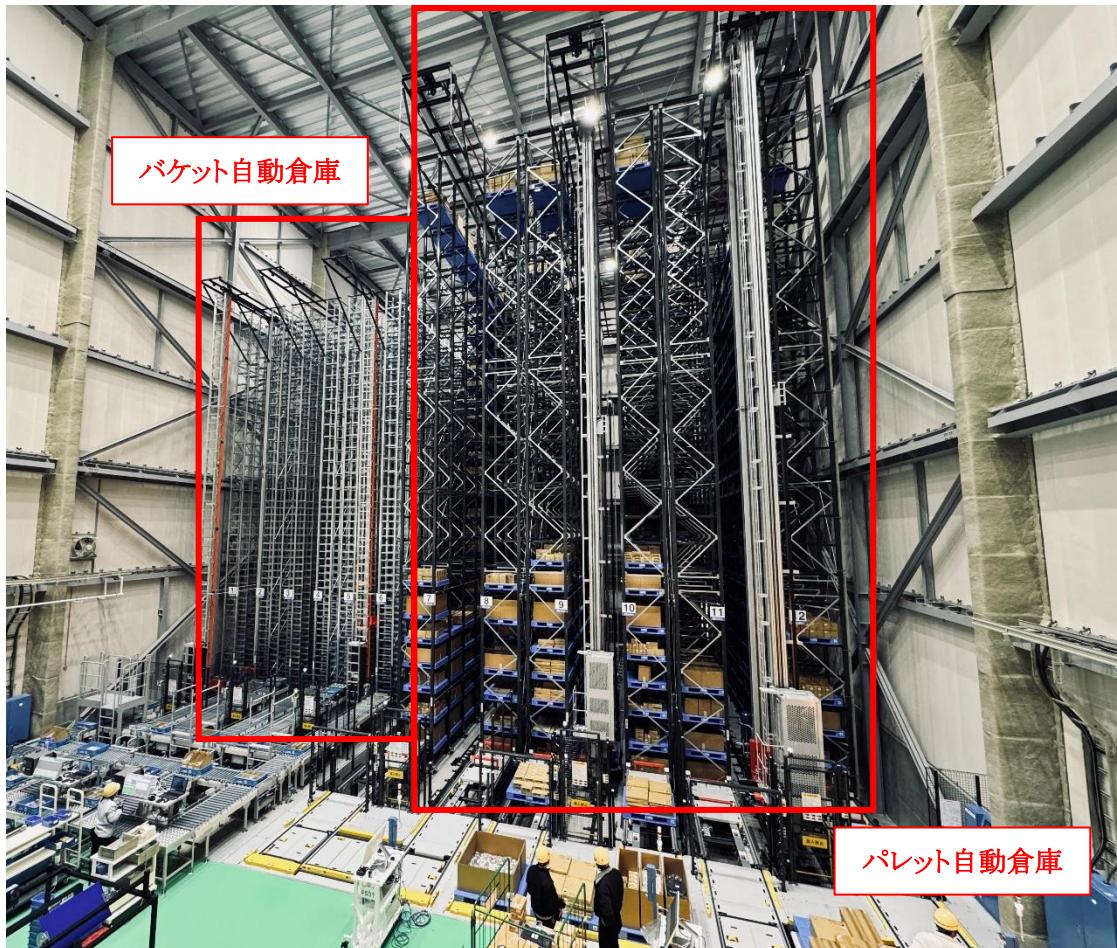
極東開発工業株式会社（本社：大阪市中央区　社長：布原 達也）は、2025年7月に完成した新西部パーツセンターに、大型自動倉庫を導入し、2026年1月より本格稼働を開始しましたのでお知らせいたします。

本自動倉庫は、高さ約20メートルの高層ラックを備え、オートメーション化による入出庫作業の効率化を実現しています。これにより、部品の保管・入出庫に関わる作業時間を大幅に短縮し、安定供給体制の大幅な効率化と強化を図りました。



新西部パーツセンター内に導入した大型自動倉庫

今回、主要な設備として、大型部品を効率的に管理する「パレット自動倉庫」と、小型部品の迅速な入出庫に対応できる「バケット自動倉庫」を導入し、部品のサイズや特性に応じて最適に収納・展開することにより、作業の省力化とリードタイムの短縮を同時に実現しています。



本自動倉庫の活用により、特装車のアフターサービス体制を一層強化し、お客様への部品供給の迅速化とサービス品質の向上に取り組んでまいります。

(ご参考)新西部パーツセンター概要

1. 名 称 極東開発工業株式会社 西部パーツセンター/パーツセンター購買課
2. 所 在 地 兵庫県三木市別所町巴 16 (三木工場公園内)
3. 事業内容 特装車用部品の保管・販売、調達
4. 面 積 敷地面積: 約 4,950 m²/延床面積: 約 5,965 m²
5. 建物概要 3 棟構造: 自動倉庫棟+倉庫棟+事務所棟 (2 階建)
6. 保管点数 約 15,000 品目
7. 設 備
 - パレット自動倉庫
 - (最大収容数: 1,502 パレット・スタッカークレーン台数: 3 台)
 - バケット自動倉庫
 - (最大収容数: 8,184 バケット・スタッカークレーン台数: 3 台)
 - 大型部品用倉庫
 - (重量棚設置数: 120 基・ラックフォーク 1 台・フォークリフト 2 台)
 - 自動採寸計量器: 1 台

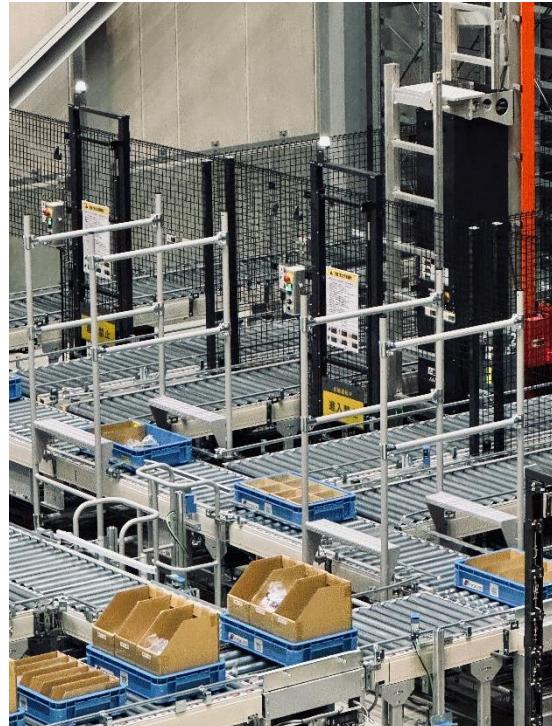


新西部パーツセンター外観

(ご参考画像)



自動倉庫俯瞰



バケット搬出の様子



自動採寸計量器



横方向にも可動が可能なラックフォーク

極東開発グループは、今後も生産・物流体制の高度化を進めるとともに、持続可能かつ効率的な経営を通じて、お客様の信頼に応えてまいります。

＜広報お問合せ先＞

極東開発工業株式会社 法務広報部

〒541-8519 大阪市中央区淡路町二丁目5番11号

電話(06)6205-7826 FAX(06)6205-7830

ホームページアドレス <https://www.kyokuto.com/>



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



極東開発グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。